

◆◆ 放課後等デイサービス自己評価表 ◆◆

児童デイサービスアニマート・くれよん

	チェック項目	実施状況
環境・体制整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	定められた基準より余裕をもった活動スペースを確保している
	職員の配置数は適切であるか	法令で定められた配置数に加え、指導員を1名以上を配置している
	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	バリアフリー化、トイレなどに手すりの設置をしている
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	月1回のミーティングにおいて、業務改善の目標設定と振り返りを実施している
	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	毎年、保護者にアンケートを実施し業務の改善化に努めている
	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページにて公開している。 また、保護者には書面で配布し、業務改善に努めている
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在は利用者・事業所の二者評価をとっている。第三者による外部評価の実施の予定はないが、必要に応じて検討していく
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	外部研修の参加及び社内研修を行っている
適切な支援の提供	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6か月ごとに保護者にアセスメントを取った上で放課後等デイサービス計画を作成している
	子どもの適応行動の状況を因るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	標準化されたアセスメントシートを使用している
	活動プログラムの立案をチームで行っているか	事業所ミーティングにて、翌月の活動プログラムの計画を立てるとともに、毎日の事業所内ミーティングによって、適切なプログラムの相談を行っている
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	月に1度のミーティングにおいて、新しい活動プログラムの企画をしている
	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	個々に合わせた課題を設定し、利用人数、メンバー、活動時間に合わせた支援を行っている
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	アセスメントを元に、個人活動と集団活動のバランスを因りながら一人ひとりに合わせた放課後等デイサービス計画を策定している
	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎朝ミーティングを実施し、前日の支援の振り返りや気になる点を話し合ったり、当日の予定や支援内容を確認しあい、職員間での情報共有を行っている
	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	
	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	毎利用ごとに経過記録を取ることで各利用者の様子を細かく把握することができ、それをもとに指導内容の更新や指導方法の見直しを行っている
	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	職員間、保護者との双方で6か月ごとにモニタリングを行い、現在の支援内容が適切であるかを見極めた上で放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している
	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。	ガイドラインに沿って支援を行っている 一人ひとりに合わせた自立支援の他、創作活動や余暇活動も積極的に取り入れている
	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	会議には管理者が参加している
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	利用契約時に学校へ出向き、送迎時の対応、トラブル発生時の連絡について、担当の先生と確認を行っている 学校のお手紙等をいただくことにより、学校行事や下校時刻を確認している
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	常に情報提供できる体制を整えており、施設に出向いたり電話などで情報共有と相互理解に努めている
	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	事業所での生活の様子、支援内容等の情報を提供できる体制を整えている
	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修をうけているか	支援内容等について、専門機関から助言を受け、必要に応じて支援方法の見直しをしている
放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	公園やフールなどの公共施設を積極的に利用し、みんなで地域とのコミュニケーションをとるようにしている	
（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	市で開催しているこども部会に積極的に参加している	
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	毎利用時連絡帳にてお子様の様子を細かくお伝えしている 発達の状況や課題についても保護者様と事業所で共通理解できるように努めている	

	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアレントトレーニングプログラムを行える職員を配置している。 必要があれば、家庭での対応方法についてアドバイスさせていただいている
保護者への説明責任	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に丁寧に説明するとともに、事業所内に重要書類を掲示している 支援内容はモニタリング時や日々の送迎時にお伝えしている
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者の小さな発信にも耳を傾け、少しでも解決に向けたお手伝いができるような体制を整えている 必要があれば助言や支援もさせていただいている
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者からの希望を確認しながら開催を検討していく
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	事業所に受付者を選任して、苦情受付体制を整えている いただいた苦情に対しては社内フローを定めて、迅速に対応している
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	定期的にお便りを作成し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報発信をしている また、行事の後などに不定期に写真を各家庭にお渡しすることで、お子様の様子をお伝えしている
	個人情報に十分注意しているか	個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管している また職員の守秘義務を徹底している
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	保護者の方からの聞き取りを参考にし、試行錯誤しながら一人ひとりにあった意思疎通を行えるよう配慮している
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	地域の農家さんの協力のもと、収穫体験など行う。また、機会があればボランティアなどの交流を考えている	
非常時の対応	緊急連絡マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	それぞれマニュアルを策定し、各ご家庭に配布している。 また、マニュアルに沿って社内研修を行っている
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	月に1回、室内、戸外の災害、地震、不審者等、細かく状況設定して避難訓練を実施している
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待防止委員会を設置している 年に4回委員会の会議を開催し、事業所内でも年4回以上研修を行っている また外部の研修にも積極的に参加している
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等テイスサービス計画に記載しているか	身体拘束適正化委員会を設置し、年4回の会議を行っている 原則として身体拘束を行わないが、やむを得ない場合は保護者への説明と同意を得た上で放課後等テイスサービス計画に記載することとしている
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応をされているか	契約時にアレルギーの有無を確認し、お子様と該当物質との接触が起らないよう留意している
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し、その都度、職員間で共有している